

# プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No. 13

平成28年4月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



診療科紹介

泌尿器科

登録医紹介

高橋医院



宇都宮海星女子学院  
箏曲部のみなさんです!

部門紹介

訪問看護ステーション

赤十字講習会

健康生活支援・救急法・幼児安全法

マイタウン・マイホスピタル  
ミニニュース

ボランティア紹介  
理美容ボランティア

お知らせ

# スタッフと連携し、 良質な医療を提供いたします!



泌尿器科スタッフ。左から2番目が貫井部長。

## 泌尿器科について

泌尿器科で対象とする臓器は尿路(腎、尿管、膀胱、前立腺、尿道)、内分泌臓器(副腎)と男性性器(精巣、陰茎)になります。腫瘍、排尿障害、尿路結石症、感染症、性機能障害、男性不妊に対し、内科的、外科的治療を行う診療科です。

泌尿器科は常勤医の貫井昭徳(ぬくいあきのり)と非常勤医で診療を行っており、外来、病棟、手術室やレントゲン室が主な仕事場になります。

外来はベテランで当科疾患にスムーズに対応可能なスタッフとともに診療しています。近隣の開業の先生方や院内他科の先生方から連日ご紹介いただいております。可能な限り迅速に対応するよう心がけています。近隣の医療施設への逆紹介を推進することにより診療待ち時間を短縮し、専門性の高い医療で地域に貢献していきたいと考えています。

病棟は急性期の方は5階東に、緩和医療が必要な方は8階西に入院していただいております。ごちらも他科との混合病棟ですが、緊急入院等にも迅速に対応いたします。スタッフとの連携にてさらに良質な

## 泌尿器科部長 貫井昭徳

チーム医療を提供できるよう留意してきます。

手術日は月、火、金の週3日で、この他緊急手術や他科の手術支援に適宜対応しています。ロボット支援下手術と対衝撃波碎石術以外の全ての手術に対応しています。貫井は2つの学会から腹腔鏡技術認定を受けており、腹腔鏡手術は当科の得意とする所です。安全な遂行のために腹腔鏡手術と開放手術は獨協医科大学から支援を受けて行っております。手術件数は右肩上がりですが、手術までの待機時間の短縮が課題です。

X線TV室では、尿管カテーテル挿入や交換などを行っています。時に休日夜間に緊急で行うこともありますが、スタッフには迅速に対応いたします。

マンパワー不足もあり、地域や院内のニーズに十分に対応しきれっておりませんが、病院の理念にあるように、「地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう」泌尿器科に少しでも近づけるよう努力してまいりますので、今後ともご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

# 医療法人 高橋医院

診療所の先生方はみなさんの健康を支えてくれる心強いパートナー。こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている診療所の先生を紹介していきます。今回は「高橋医院」をご紹介します。



高橋 貞夫院長

## 医療法人 高橋医院

対象疾患 一般内科、小児科

得意分野 家庭医に徹しています

## 先生にインタビュー

当院との医療連携について期待されていることはどのようなことですか？

救急患者さんの受け入れや、在宅患者さんの病診連携。そして、患者さんの精査依頼です。

介護保険適用の患者さんや在宅医療の患者さんが増えており、一般家庭医の需要が高まっています。病院は病院で、専門知識のある先生が専門的な治療をし、我々家庭医は患者さんの身になり、こまめに動くことが患者さんのためになるのかなと思っています。

病診連携は非常にありがたいです。在宅医療で困るのはなんととっても緊急時の対応です。がんで余命1ヶ月しかない患者さんは、家庭で看取りしてあげたいと思っています。それには夜中の往診が必要な場合もでてきます。「24時間体制」と謳っていますが、実際一人で行って行くのは難しく、急に具合が悪くなったときにすぐ日赤で診てもらえる安心感がないと続けられません。外せない用事があるときも、事前に日赤に連絡を入れておきます。そういった後ろ盾があるからこそ、安心して患者さんの病状に対応できています。

往診で那須赤十字訪問看護ステーションのスタッフと一緒に来たときに、患者さんの状態を細かく情報提供してもらい、診療に役立てています。

毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？

在宅患者さんと施設の患者さんの緊急時の対応に追われます。

介護施設でも診療をしており、患者さんが重症な状態にあると、休みの日でも遠くへは出て歩けません。連絡がとれるよう、常に携帯電話を持ち歩きます。

患者さんの状態が落ち着いているときは、夏は山登り、冬はスキーをします。登頂したい山があるので、それを目標に体力を培っています。スキーに行くのは、専ら県内のハンターマウンテンです。

また、那須郡市医師会の野球部に入っており、平日ですが毎週練習しています。みんな野球が大好きで、少しの雨なら練習は行われます。

最後に地域の方々、患者さんへ一言お願いします

具合の悪いお子さんを夕方連れてくる際は、昼間の経過を確認してから来てもらえるとより適切な診療を行えます。また、今はインターネットで情報がすぐ手に入りますが、実際に子供の具合が悪くなったとき、急を要するのかわ、どう対処すべきか判断できるようになってもらえたら嬉しいですね。

本人・ご家族が「最期は家で過ごしたい」と思っている方は、お申し出下さい。

### 基本情報



- 院長 高橋 貞夫(たかはし さだお)
- 住所 大田原市滝沢355
- 電話 0287-28-1151
- 診療科目 内科、小児科、消化器科、アレルギー科
- 休診日 日曜、祝日

実際は困難も多いと思いますが、病診連携し、患者さんやご家族の負担にならずに家庭で看取れるよう、精一杯努力したいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



## 那須赤十字訪問看護ステーション 管理者 大場 利子

### 訪問看護をご存じですか

訪問看護師は、お宅に訪問して、健康面や生活などで気になっていたりすることをお聴きし、血圧や脈拍などを測定したり体調を観察したりして、医療と生活の両面を合わせて判断し、疾病の悪化防止や生活障害の予防、健康管理などをを行います。また、医師の指示のもとに、体調によっては、点滴や注射、傷や床ずれ（褥瘡）の処置、胃ろうなどの栄養管理や吸引などの呼吸管理、服薬管理を含めた疼痛ケア、下剤の調整なども行います。医療的なケアは、かかりつけ医と相談したり、指示を受けて行います。その他にも、介護予防や介護方法、在宅で必要な訪問介護などのサービスについての相談・助言を行います。

訪問看護師は、病気や障害の状態を考慮しつつ、安心して生活を続けることができる方法を、ご本人や家族と一緒に考えます。

### 医療機器を使っても医療処置があっても自宅で生活できます

日常的に医療機器が必要になったら、病院や施設に入っていなければいけないと思いがちありませんか。在宅用の人工呼吸器、点滴ポンプ、酸素濃縮器、吸引器などを使っている方でも、自宅で安全に安定して過ごすことができます。

かかりつけ医や訪問看護師が、自宅での医療処置の方法や医療機器の取り扱いについて

説明しながら、体調や自宅の環境に合った方法を、ご本人やご家族と一緒に考えます。

### 退院前からご相談に応じます

病院から退院する時には、医師や看護師がいなくて大丈夫だろうか、体調は変わらないだろうかなどの心配事があると思います。「こんな状態なのに、入院させないなんてかわいそう」という声を聞くことがあります。本当にそうでしょうか。様々なサービスを利用することで、病院でなくても医療や介護の専門家による支援を受けながら、安らかな最期を迎えることができます。

### 訪問看護をご活用ください

訪問看護師は、皆さまが住み慣れた地域や自宅で、より快適で安全な生活ができるように支える専門職です。住み慣れた自宅や地域の中で過ごしたいという希望を持つ方を支えるパートナーとして、ぜひ訪問看護をご利用ください。

### 那須赤十字訪問看護ステーション

#### 基本理念 「安心」「信頼」

営業時間以外でも緊急訪問はご相談に合わせて24時間365日行っています。

TEL 0287-23-8866

FAX 0287-23-8903

## 赤十字の講習

日本赤十字社では、緊急時や災害時に人命を救う方法や、健康で安全に暮らすための知識と技術を広めるため、講習を実施しています。

那須赤十字病院に勤務する講習の指導員からそれぞれの講習について紹介させていただきます。



講習会のような様子(赤十字救急法)



講師

### 救急法

赤十字救急法指導員 十河 匡 光(臨床工学技師)

赤十字救急法は尊い命や健康を守るため、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方、気道異物除去などの救命手当と、止血・包帯の使い方や骨折の固定などの応急手当を内容とした日常生活の中でいざというときに役立つ知識と技術を伝える講習です。

講習については受講資格を設けていますが、赤十字イベントなどで開催されている心肺蘇生法やAEDの体験は誰でも気軽に参加することができます。それぞれ多くの方々に参加していただき、赤十字救急法をもっと身近なものにして欲しいと思います。

私たち救急法指導員は、「命を救いたい」という皆さまの気持ちに、自信と勇気を持っていただけるようサポートさせていただきます。そして、市民から救急隊、医療機関へと「救命の連鎖」がつながることを願っています。

### 健康生活支援講習

赤十字健康生活支援講習指導員 駒場 早苗(看護師)

赤十字健康生活支援講習は、誰もが迎える高齢期を健やかに迎えるために必要な健康増進の知識や地域における高齢者の支援、日常生活の自立に向けた具体的な介護の知識と技術を習得できる講習です。高齢者の支援や介護をやるという気持ちはあっても、知識がなければ、実際にはなかなか第一歩が踏み出せないということがあります。受講されている方々は、ご家族を実際に介護されている方、高齢者に関わるお仕事をしている方など様々です。講習では実技が多くありますが、誰にでも簡単に行える内容のものばかりです。地域で困った方がいた時に、この講習で身につけた知識や技術を活かしてみませんか。関心のある方はぜひご参加ください。

### 幼児安全法

赤十字幼児安全法指導員 鈴木 保江(看護師)

赤十字幼児安全法は赤十字講習のなかで、特に未就学前や乳児における心肺蘇生やAEDの使い方・気道内異物除去などの救命手当と子どもに起こる事故の手当について学べる講習です。子どもは大人のミニチュア版ではなく子どもの成長に合わせた応急手当が必要です。

公園で転んでしまったときはどうするの？小さなおもちゃで遊んでいたけど急に静かになって顔色が悪くなってしまった、そんなときはどうするの？子どもの身近にいる大人が気づいて手当できれば安心ですね。指導員は子どもの未来を地域の人々とともに考えたいという思いをもって講習を行なっています。楽しく役立つ講習ですので多くの方に受講していただきたいと思います。

申込み：お申込みは、日本赤十字社 栃木県支部になります。

ホームページでご確認ください。 <http://www.jrc-tochigi.org/>

## 2月 鬼と記念撮影？！

### 緩和ケア病棟/2月3日(水)

リハビリスタッフが鬼に扮して緩和病棟の各病室を回り、患者さんと記念撮影をしました。いきなり部屋に登場しびっくりされた方もいらっしゃいましたが、あとになって「ああ、〇〇さんだったんだね」と一安心。全部のお部屋をまわった鬼は息切れをしていました。毎回季節の行事ごとに思いますが何時もの回診では絶対みれないような素敵な笑顔を患者さんがみせてくれます。

患者さんにとって一日一日が良い日でありますように……………。

那須赤十字病院の緩和ケア病棟では、各季節に合わせた催しを開催し、癒しの時間を多く持てるように配慮しています。



## 元気に鬼退治

### 託児所「ポケット」/2月8日(月)

1年の無病息災を願い、託児所では子供達が元気に鬼退治をしました。この行事は日本の風習と季節感に触れることを目的に毎年行われています。託児所の子供たちは、鬼に扮した託児所スタッフに勇敢に立ち向かい、見事、赤鬼と青鬼を退治しました。

大泣きする子もいましたが、「鬼に肩をくまれたよ」「鬼をよくみたら先生だった」など、鬼に扮する保育さん達に大興奮のようでした。

皆さまは節分の日をどう過ごされましたか？豆まきをしましたか？今年一年皆さまが健康に過ごされますよう祈っております。



鬼は～外、福は～内♪ 元気に鬼退治。

## 3月 モンゴル馬頭琴ミニコンサート

### 緩和ケア病棟/3月7日(月)

那須赤十字病院 8階緩和ケア病棟で、アマルトブシンさん、岡田賢二さんによる馬頭琴(※1)、ミニコンサートがダイールームで開催されました。今回の演奏会は、那須赤十字病院に入院中である岡田さんのお母さんの、「息子の馬頭琴の演奏を聴きたい」との願いから、たまたま来日中だった岡田さんの馬頭琴の師、アマルトブシンさんとのミニライブが実現されました。演奏は全部で6曲でした。

馬頭琴は、独特の乾いた音色、郷愁を感じさせる音色で日本でもファンが増えつつあります。素晴らしい演奏をありがとうございました。



演奏された「ふるさと」に、口ずさむ患者さんもいらっしゃいました。

## 防火訓練

### 那須広域消防が協力/3月8日(火)

8階東病棟を火想定場所として、那須赤十字病院消防計画に基づいた自衛消防組織(昼間)(※2)による総合防火訓練が行われました。総合受付カウンター脇に本部が設けられ、避難救出訓練や搬出班による非常持出訓練の他、消火班及び警備員による放水訓練が実施され職員は真剣な面持ちで訓練に参加しました。

また那須地区消防本部消防車による進入経路確認訓練も併せて行われ無事終了いたしました。

ご協力をいただいた那須広域消防のみなさん、ありがとうございました。



患者さんや職員の安全を守るため、真剣に訓練に取り組みました。

馬頭琴(※1) モンゴルの遊牧民の間に古くから伝わる楽器。

自衛消防組織(※2) 消防法に基づいて設置される人的組織。

那須赤十字病院 ボランティア会

理美容ボランティア(高橋太郎さん・佐々木ゆみ子さん)



患者さんの髪を切る高橋さん



患者さんの髪をとかず佐々木さん

今回ご紹介するのは、理美容ボランティアの高橋太郎さんと佐々木ゆみ子さんです。理美容ボランティアは、毎週火曜日、もっとクロスルーム・各病棟のベットサイドで入院患者さんを対象に行っています。高橋さん、佐々木さんは第二・第四・第五火曜日を担当しています。

メニューはカット・シャンプー・顔剃り・カラーで、入院患者さんの髪をきれいにしてくださっています。また高橋さんは当院のボランティア会会長を務めており、ボランティア活動にご尽力いただき、併せて感謝申し上げます。

**Q** いつ、どんなきっかけで当院のボランティアを始めましたか。

**A** 高橋さん → 約20年前、当時の大田原赤十字病院の看護師であった同級生の紹介で始めました。

佐々木さん→20年以上前、当時の大田原赤十字病院で理美容ボランティアをしていた父の跡を引き継ぎました。

**Q** 理美容ボランティアのやりがいはどこなところですか。

**A** 入院患者さんから、切ってよかった、気持ちよかったという言葉をいただいたときにやりがいを感じます。

**Q** 心掛けていることは何ですか。

**A** 入院患者さんの希望通りの髪型になるように丁寧に切っています。また、リフレッシュしてもらえるよう、シャンプーを特に丁寧に行っています。

# 献血に行こう!

## 「血液を確実にお届けするために」

～あなたの善意が患者さんの尊い生命を救います～

日時：平成28年4月28日(木)10:00～16:00(12時前後から1時間程度休憩をとらせていただきます)

場所：那須赤十字病院 時間外入口付近(献血バス)

問合せ：那須赤十字病院 社会課 ☎0287-23-1122(代)

400ml献血のご協力をお願いします。

### がんのつどい

平成28年4月2日(土) 10:00～11:00

那須赤十字病院 会議室1・2

### 第50回記念の会

### 「フリートーク」

※申込不要。直接お越しください。

### インターンシップのご案内

平成29年4月に就職する看護師の方を対象にインターンシップを行います。

平成28年

5月2日(月)、7月27日(水)、8月3日(水)、8月10日(水)、  
8月17日(水)、8月24日(水)、8月31日(水)

申込先・問合せ：

那須赤十字病院 看護部 ☎0287-23-1122(代)

### 編集後記

日も長くなり、陽気もだいが春めいてきました。

春といえば出会いの季節です。

当院でも、4月から夢と希望に満ちた多くの新入職員が新しい人生のスタートをきりました。今後の活躍が期待されます。

我々も初心を忘れず、皆さまに愛される広報誌を届けていけるよう頑張ります!!

地域医療福祉連携課

伊藤 健一

### プレゼント



### 本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください!

抽選で3名様に「CroKuma救護服」「CroKumaナース」「赤十字マグカップ」をプレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。

#### ●応募先

郵送/ 〒324-8686 大田原市中田原1081-4

那須赤十字病院 総務課 プラタなす第13号 プレゼント係  
FAX/ 0287-23-3004

宛先「総務課 プラタなす第13号 プレゼント係」

メール/nrchp@nasu.jrc.or.jp

件名「プラタなす第13号 プレゼント係」

●応募締切り 2016年4月30日(土)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

### 今回の表紙

#### 宇都宮海星女子学院箏曲部による演奏会 1月16日(土)



那須赤十字病院

2階 マイタウン

ホールで、宇都宮海

星女子学院の中学校・

高等学校箏曲部による

演奏会が開かれました。

同校が那須赤十字病院で箏曲を披露するのは2回目になります。

NHK 東日本大震災復興支援ソングの「花は咲く」や「ふるさと」を含む4曲が演奏されました。この日は、入院患者さんや外来患者さん職員など約80人が集まり、箏曲の日本的な音色、そして生の演奏に聞き入っていました。素晴らしい演奏をありがとうございました。

### 那須赤十字病院

#### 基本理念

マイタウン・マイホスピタル  
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

#### 基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくりたい。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

### プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.13

発行日 2016年4月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ビ・テ・オ・印刷